

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」

平成30年度

法人名	立石薬品株式会社	代表者	立石 美井	法人・事業所の 特徴	事業所の建物とユニフォームはピンク色で元気な事業所です。利用者様一人一人に合った対応を心掛け、利用者様の言葉にならない気持ちを受け入れられる努力をし、ご家族様との関係を大切にしながら、自宅での生活が少しでも長く続けられるようにお手伝いさせて頂いています。
事業所名	まつおかのまんてん星	管理者	西村 温美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援C	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	4人	0人	1人	1人	0人	5人	0人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 自己評価の確認	・事業所として利用者様のどのような情報が必要かを検討し、家族に伝える努力をしていく。	・新規の方の自宅での生活や、泊まりを利用される方は自宅での夜間の様子を、送迎時にご家族と会う為、話を聴く努力をしている。	・自己評価をする事で、スタッフの皆様の意識改善になっていると思う。達成可能な内容であると思えるが“気配り”というファジー（あいまい）な内容の為、スタッフ間のコミュニケーションもポイントだと思える。	・利用者様の様子を言葉で表現し記録し、ケアプランにそって出来ている事と出来ていない事を明確にしていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	・地域の方に事業所の存在を知って頂ける様な努力をし、新しいお客様にも親しみの持てるような事業所にしていきたい。	・昨年度、初めて四ツ家区会議に出席させて頂き、まつおかのまんてん星の説明とチラシを回覧させて頂いた。また新しいお客様や問合せには見学に来所させて頂き、まんてん星がどんな事業所か説明させて頂いている。	・徐々に認知されています。	・相談者や見学者を随時受け入れ、初めての方でも事業所に入りやすい雰囲気作りをしていく。
C. 事業所と地域のかかわり	・今後も地域の行事に参加出来る努力を引き続き行っていく。	・地域行事の参加はまだまだ少ないが、今後はもっともっと参加出来るようにし、地域とかかわりをもっていきたい。	・12/2四ツ家区防災訓練に参加して頂きました。ブースを設け車椅子椅子の操作方法、災害時の注意点など説明して頂き、地域の皆様の認知度は上がったと思います。またどんど焼き等も参加して頂き、地域との交流にも努力して頂き感謝申し上げます。	・引き続き地元の方々に必要とされる事業所作りをし、介護の事で困ったら、まんてん星に連絡して頂けるように努力していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしをささえる仕組み	・スタッフ一人一人が情報を得る事を意識し、コミュニケーションを取る努力をする。	・日頃、利用されている中で、情報を得る努力をし、スタッフ間で共有している。地域交流はかけ離れないよう、地道に努力していく。	・利用者により対応が違ったりすることで、大変な努力が必要だと思いますが、地域の行事も利用して頂き、外へ出る事をすすめられればと思います。	・地域の行事に積極的に参加出来るように計画を立て参加していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・利用者の様子やサービス内容の紹介・特色等をアピールし地域住民から意見を頂き事業所の運営に活用できるように会議を行っていく。	・地域の方々に運営推進会議に出席して頂く事で、活動報告をしながら利用者様の様子を伝えまんてん星を知って頂いている。	・運営会議では多くの活動状況を写真などでわかりやすく報告して頂いています。	・小規模多機能型居宅介護事業所の仕組みを知って頂き、その中でまつおかのまんてん星をアピールし地域の困っている方の相談、対応をする。

<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>・地域の防災訓練に参加し事業所を認識して頂き、災害時に協力を得られるような関係を構築していきたい。</p>	<p>・12月の四ツ家区防災訓練に参加し、車椅子の使い方の説明をさせて頂き、地域の方々と交流が出来て良かった。</p>	<p>・四ツ家区自主防災会会長に事業所の防災訓練に参加して頂き、相互の助け合い関係を深めるように出来たらいいと思う。</p>	<p>・今後も四ツ家区防災訓練に参加させて頂き、災害時に協力して頂けるような関係作りをしていく。</p>
-----------------------	--	---	--	--

法人名	立石薬品株式会社	代表者	立石 美井	法人・事業所 の特徴	利用者様がまんてん星を利用して頂いている間だけでも孤独にならないよう、スタッフ一人一人が目配り気配りをし、楽しく過ごせるように配慮しています。少しの変化も見逃さず、ご家族と連絡を密に取りご自宅でもより良く生活出来る様にお手伝いしています。
事業所名	まつおかのまんてん星	管理者	西村 温美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援C	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	3人	0人	1人	1人	0人	3人	0人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 自己評価の確認	・御本人だけでなく、御家族と接する機会に在宅での情報を得る努力をする。	・利用者様の知り得た情報はスタッフ間で共有する努力はしているが、事業所としてどんな事をしたいのか、深めていない。	・全般的には具体的な取り組みは行われているが、個々の利用者に対しての支援や係り方や、地域連携の点では一部改善が図られていない。	・事業所として利用者様のどのような情報が必要かを検討し、家族に伝える努力をしていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	・良い評価を頂いたので、引き続き向上出来るように、努力していく。	・季節感のある事業所になるよう工夫し、利用者様やその他のお客様が、より良い時間が過ごせるよう努力している。	・良い評価を維持できる様にしている。 ・利用者の把握は難しい面があるようですが、スタッフは前向きに取り組んでいます。	・地域の方に事業所の存在を知って頂ける様な努力をし、新しいお客様にも親しみの持てるような事業所にしていきたい。
C. 事業所と地域のかかわり	・地域への行事等に参加出来る様、勤務体制を整えていく。	・地域行事に少しずつですが参加している。	・地域行事には少数だが利用者も参加している点や、事業所の行事に地域の方や子供達が参加してくれる点であったり、地域との係りはある程度図られている事から、今後も継続して頂きたい。	・今後も地域の行事に参加出来る努力を引き続き行っていく。
D. 地域に向いて本人の暮らしをささえる仕組み	・利用者様が地域への行事に参加出来るように努力していく。	・利用者様の地域の行事の参加は事業所として厳しいところがあるが、事業所のある行事に参加していただいている。	・利用者の過去や自宅・地域での暮らしぶりの把握が不足しているとの事だが、職員一人一人がコミュニケーションを工夫し情報を得るように努める事に意識を置く事が重要と考えます。	・スタッフ一人一人が情報を得る事を意識し、コミュニケーションを取る努力をする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・地域等でお困りの方の事例を紹介していく。	・地域包括さんからの紹介や民生委員さんからの紹介があり、見学や相談を受付けている。	・利用者の様子やサービス内容の紹介・特色等をアピールし地域住民から意見を頂き事業所の運営に活用できるようにする。	・利用者の様子やサービス内容の紹介・特色等をアピールし地域住民から意見を頂き事業所の運営に活用できるように会議を行っていく。
F. 事業所の防災・災害対策	・年間の防災計画に地域の防災訓練や夜間想定訓練を入れ、災害に備える。	・地域の防災訓練が2回行われたが、参加させて頂いている。夜間の防災訓練も行い改善するところは改善している。	・防災訓練を実施しているが、夜間を含め全ての時間帯で事業所の職員のみで対応する事は困難な場合がある為、地域の防災訓練に参加する事により、事業所を認識してもらおうと同時に協力が得られるような関係を構築できるよう努めて下さい。	・地域の防災訓練に参加し事業所を認識して頂き、災害時に協力を得られるような関係を構築していきたい。